

Officio SynergyWare

旧ソフトウェアからの移行

操作ガイド

本書は、EpsonNet LogBrowser V2/WebManager のユーザー情報を取り込むための方法を説明しています。
必要に応じてお読みいただき、お役立てください。

マークの意味



使用上、必ず守っていただきたいことを記載しています。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因となる可能性があります。



補足説明や参考情報を記載しています。



関連した内容の参照ページを示しています。

掲載画面

- お使いの機種により表示される画面が異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。
- 本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows Server 2003 の画面を使用しています。

Windows の表記

Microsoft® Windows® 2000 Server Operating System 日本語版

Microsoft® Windows Server® 2003 Operating System 日本語版

Microsoft® Windows Server® 2008 Operating System 日本語版

Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Operating System 日本語版

本書では、上記の OS (オペレーティングシステム) をそれぞれ「Windows 2000 Server」、「Windows Server 2003」、「Windows Server 2008」、「Windows Server 2008 R2」と表記しています。また、これらの総称として「Windows」を使用しています。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがあります。当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適切に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

商標

EPSON、EXCEED YOUR VISION はセイコーエプソンの登録商標です。

Windows

Microsoft、Windows、Windows Server は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Java

Copyright 2007, Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. All rights reserved.

This product includes code licensed from RSA Security, Inc.

Some portions licensed from IBM are available at <http://oss.software.ibm.com/icu4j/>.

Java および Java 関連の商標およびロゴは、米国 Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。

その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

本製品の不具合に起因する付随的損害

万一、本製品の不具合によって所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失等）は、補償致しかねます。

著作権

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

旧ソフトウェアからの移行

データの移行を始める前に、本製品と EpsonNet LogBrowser V2/WebManager とでは、グループの考え方が異なります。グループの考え方や移行の仕方を理解してから始めてください。また移行の流れの詳細を参考に、お使いの環境にあった手順を進めてください。

移行できるバージョンは以下になります。

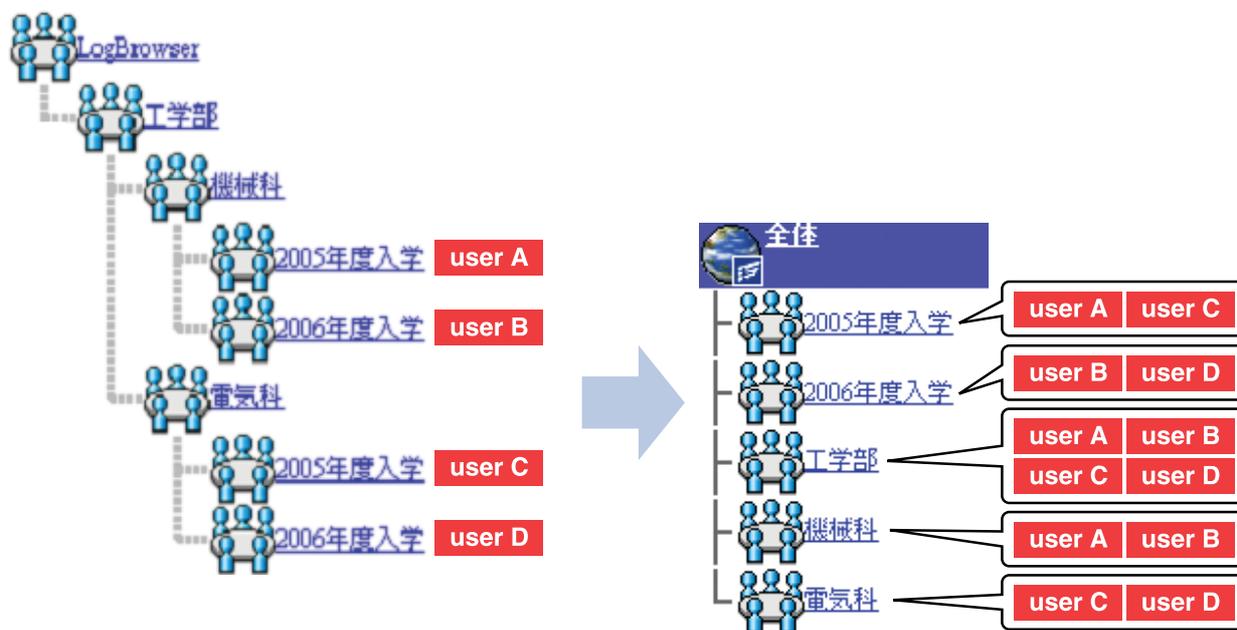
- EpsonNet LogBrowser V2 2.6c 以降
- EpsonNet WebManager 3.1g 以降

グループの考え方

EpsonNet LogBrowser V2/WebManager の各ユーザーまたはデバイスは、ツリー構造下のどれか1つのグループにのみ登録が可能でしたが、本製品では目的ごとにグループを作成できるため、各ユーザーまたはデバイスは、複数のグループに登録することが可能です。

例えば、EpsonNet LogBrowser V2 使用時に下記の左側のイラストのようなグループがあったとします。

そこで 2005 年度入学者のみを集計したり、印刷制限をしたりするには、各学部の 2005 年度入学グループを設定する必要がありましたが、本製品では 2005 年度入学者だけをまとめたグループ、工学部在籍者だけをまとめたグループを作成できるため、集計や、印刷制限の設定がしやすいグループを作成できます。また、ユーザ管理のグループのビューとしても使用できます。



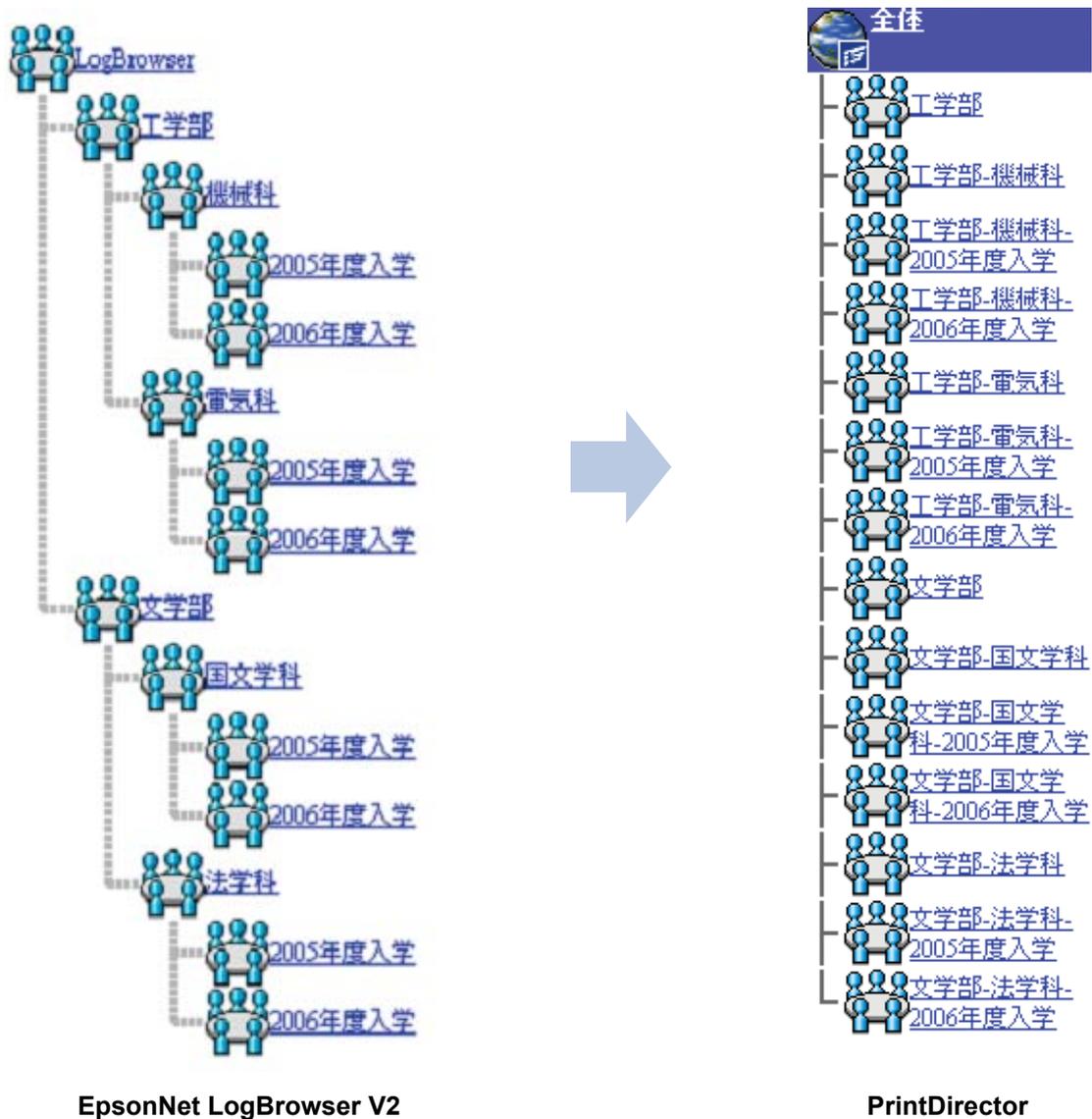
EpsonNet LogBrowserV2

PrintDirector

グループ移行の仕方

EpsonNet LogBrowser V2/WebManager のツリー構造で作成されていたグループは、本製品では並列で作成されます。本製品に移行後は、各グループ名を「-」でつないで表示します。グループ名が 20 文字を超えると、最初のグループ名と最後のグループ名の間を「~」でつないで表示します。

移行は必ず下図のようになりますので、下図以外にしたいときは、新規グループを作成してください。



なお印刷制限は、各ユーザー、グループごとに引継がれます。

ログ収集設定や、アラート通知情報は引継がれませんので、移行後設定し直してください。

登録できるユーザー数、デバイス数は以下になります。

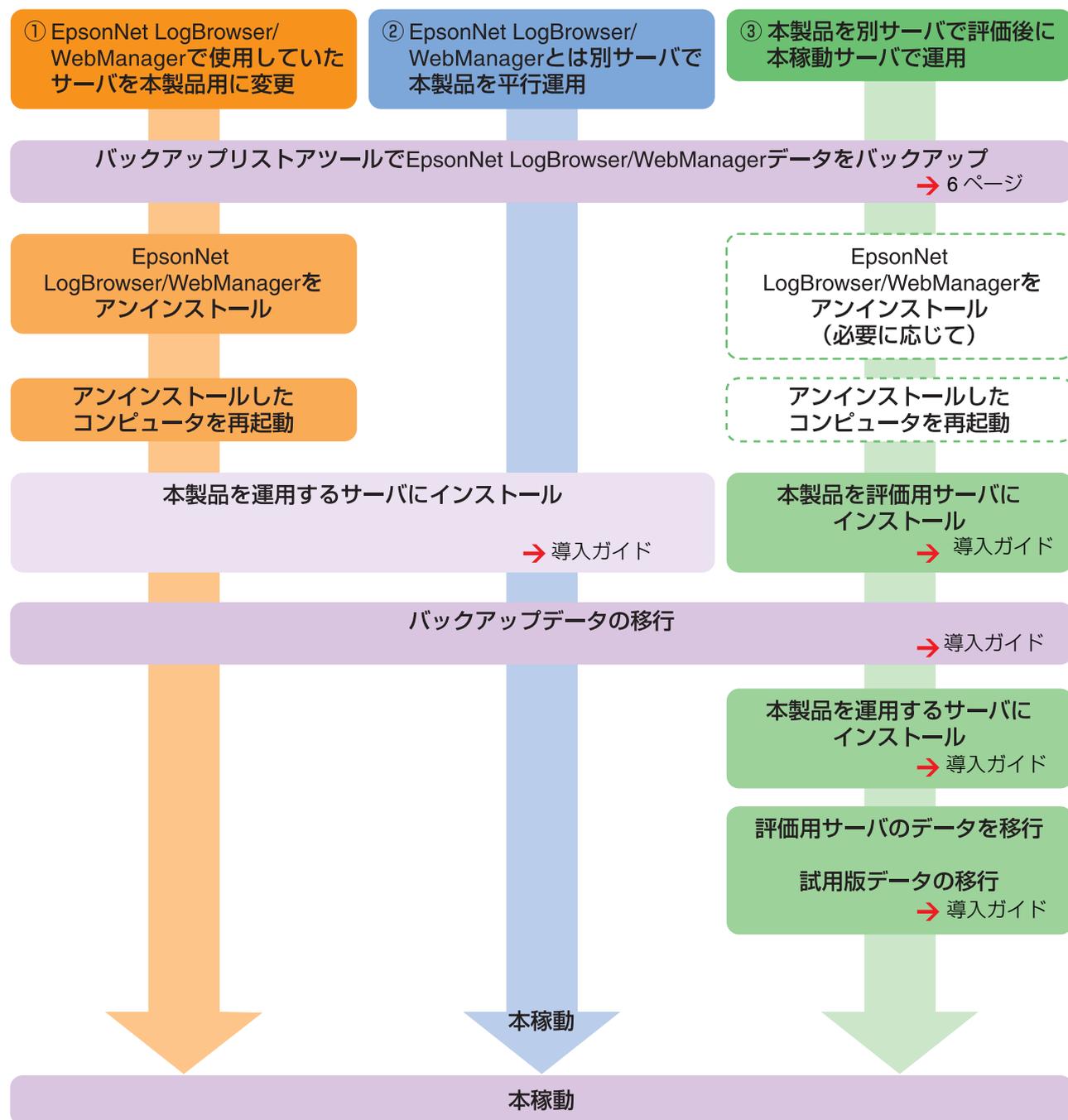
- ユーザー数：20,000 名 / グループ
- デバイス数：100 台 / グループ

移行の流れ

EpsonNet LogBrowser V2/WebManager から本製品にデータを移行するには、以下の環境が考えられます。お使いの環境にあった移行方法を確認してから、バックアップを始めてください。

また移行できるバージョンは以下になります。

- EpsonNet LogBrowser V2 2.6c
- EpsonNet WebManager 3.1g



参考

- EpsonNet LogBrowser V2/WebManager をそれぞれ違うサーバで運用していたときは、各サーバからデータをバックアップして、本稼動用サーバに移行してください。
- EpsonNet LogBrowser V2/WebManager を Windows NT4.0 で使用していたときで①で移行するときは、本製品を運用するサーバにインストールする前にサーバの OS を変更してください。

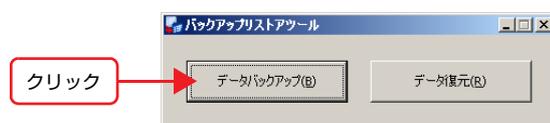
EpsonNet LogBrowser V2/WebManager データのバックアップ

本製品に付属の「バックアップリストツール」を使用して、データをバックアップします。

1 本製品に付属の CD-ROM を EpsonNet LogBrowser V2/WebManager を運用していたコンピュータにセットします。

2 CD-ROM 内の以下のフォルダにある BACKUPRESTORETOOL.EXE をダブルクリックして起動します。
APPS\BackupRestoreTool\BACKUPRESTORETOOL.EXE

3 [データバックアップ] をクリックします。



4 バックアップファイルの保存先を選択して、[OK] をクリックします。
ログ、ユーザー、デバイスの情報がバックアップされます。



!重要 保存先にネットワーク共有ドライブを指定しないでください。ローカルディスクに保存してください。

5 「データバックアップ処理が終了しました。」画面が表示されたら、[OK] をクリックします。



!重要 EpsonNet LogBrowser V2/WebManager で使用していた登録用の CSV ファイルは本製品では使用できません。

以上で終了です。

バックアップデータの移行

まずは、バックアップしたデータを移行したいコンピュータ（サーバ）にコピーしてください。そのあと本製品にデータを取り込みます。

以下では、本製品にデータを取り込む手順の詳細を説明します。

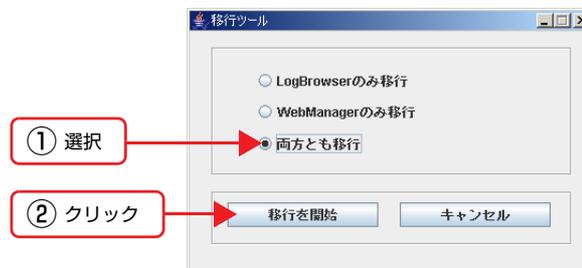
！重要 ツールの操作には必ずマウスを使用してください。キーボードで操作すると意図しない動作をすることがあります。

1 本製品に付属の CD-ROM を、PrintDirector 本体をインストールしたコンピュータ（本稼動用のコンピュータ）にセットします。

2 CD-ROM 内の以下のフォルダにある MGT_FROM_INSTALLER.BAT をダブルクリックして起動します。

APPS\MigrationTool\MGT_FROM_INSTALLER.BAT

3 必要な項目を選択して、[移行を開始] をクリックします。



4 バックアップしたファイルの保存先を選択して、[開く] をクリックします。



5 「移行が成功しました。」画面が表示されたら、[了解] をクリックします。

移行するデータ量によっては、本画面が表示されるまでに時間がかかることがあります。



6 コンピュータを再起動します。

7 本製品にログインして、設定が移行されていることを確認します。

- 印刷制限設定項目の確認方法
 - ① [ユーザー管理] - [基本制限設定] - [基本設定] - [編集] をクリック
 - ② 各項目の設定値を確認して [保存] をクリック
- 登録ユーザーの確認方法
 - ① [ユーザー管理] - [一覧] をクリック
 - ② ユーザーグループとユーザーが表示されることを確認
- 登録デバイスの確認方法
 - ① [デバイス管理] - [一覧] をクリック
 - ② デバイスグループとデバイスが表示されることを確認
- ログ情報の確認方法
 - ① [レポート] - [ログ] をクリック
 - ② [ログ選択] で移行されたデータが存在するログをクリック
 - ③ ログの存在する期間を指定して [表示] をクリック

以上で終了です。

参考

本製品にデータを移行後グループを再構築したいときは、以下の手順を参照してください。

- ① 移行した環境で「エクスポートインポートツール」を使い、現在の情報を保存します。ツールの起動方法は以下を参照してください。
→ 導入ガイド「デバイス登録」
- ② 保存した CSV ファイルのグループ情報を編集します。CSV ファイルの書式は以下を参照してください。
→ 導入ガイド「デバイス登録」
- ③ 編集したファイルを再度「エクスポートインポートツール」を使い、本製品に取り込みます。

！重要

本製品への移行が確認できるまでは、バックアップデータを削除しないようにしてください。